

くわいせい Kaisei

回生ニュース
Vol.68

〒600-8814
京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1
医療法人回生会 編集委員会
TEL 075-315-3477
FAX 075-311-6082

維持期(生活期)の リハビリテーション改革

- 患者さま満足度調査結果のご報告
- ケアサポート(CS)セットのご案内
- 美味しい・楽しい食事どころも生き生き
- 介護老人保健施設ケアセンター回生父母の会

維持期(生活期)のリハビリテーション改革

～利用者の日常生活を支え自立支援の役割～



医療法人回生会
京都回生病院医事課
主任 太田 大地

医療法人回生会
リハビリテーション
統括室長 西本 俊治氏

太田 今回は、回生会のリハビリテーションについて、その現状と今後の展望を回生会リハビリテーション統括室長西本俊治氏にお伺いしました。

急性期・回復期・維持期(生活期)に至る切れ目のないリハビリ提供を目指して

太田 回生会のリハビリテーションは、かなり拡張していますが、現状をお教え願いたいのですが。

西本 回生会のリハビリスタッフ数はこの数年間で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を合わせ約80名に増加しています。勤務場所としても病院はもちろんですが、老人保健施設や訪問リハビリテーション、またデイケア(通所リハビリテーション)やデイサービス(通所介護)まで広がっています。

太田 リハビリテーションのニーズが高まっていると言っていますが、それぞれの勤務場所でのリハビリ内容の違いはあるのでしょうか。

西本 はい。障害が発症した直後の急性期でのリハビリは早期離床が主な目的となります。つまり、寝返りや座位、立位、歩行などの基本的な動作や体力の回復、合併症の予防など目指します。

太田 今後、より高齢化社会が進むこの国にとってリハビリの担う役割は大きいのですね。今後の回生会リハビリテーションの展望をお聞かせ下さい。

西本 確かに、この国が直面している課題の一つに「高齢化社会」があります。2025年には団塊の世代が後期高齢者に仲間入りし、ますます高齢化が進みます。要介護者の減少は膨張化する社会保障の抑制の一助となります。しかし高齢化がこの国をむしばんでいるのではなく、むしろ障害を持つても、年を重ねても、ご自宅で一つでも二つでも自分で出来る事を増やし、他者に力を出るだけかけない自立した生活を送れるよう支援することで、健やかに長生きする長寿の町づくりに対するリハビリ専門職の役割は大きいのです。回生会リハビリテーションでは、新しいリハビリモデルとして阪急東向日駅にある「デイサービス「グッドエイジング」リハビリテーションかいせい」でプログラム作成に取り組んでいます。

リハビリ「おけい」こと

ピアノや習字教室では生徒は、黙々と鍵盤を叩いたり、筆を動かしています。講師は手本を見せ、誤りを直し、的確に指導し上達を促します。先にも話しましたが、障害の時期に応じてリハビリの目的や内容は変

次に状態が落ち着いて来た頃の回復期では、基本的動作に加え、日常生活の動作に近い応用動作の訓練が積極的に行われ退院に備えます。ここまでは主に病院で行われるリハビリですが、退院後は維持期(生活期)のリハビリとなります。特に高齢者で介護認定を受けられている方などは、訪問リハビリやデイケアやデイサービスなどのリハビリに移ります。この時期のリハビリは生活リハビリとも呼ばれ、その方の生活を幅広く捉え、自立支援する事が主な目的となり、高齢社会の現在、リハビリスタッフの役割でも重要な時期と思えます。このように障害の時期を「川」に例えた場合、上流は「急性期」中流は「回復期」下流は「維持期・生活期」に分かれますが、それぞれリハビリの目的や内容は変わります。しかしどの時期も大事な時期であり、各時期の切れ目のないリハビリサービスの提供が必要だと思います。回生会では急性期から維持期(生活期)まで各リハビリスタッフ間はもちろん、医師、看護師、介護職などの情報の共有を図り、スムーズな移行を目指しています。



太田 今後はますます変化、発展するリハビリですが、これからも頑張ってください。ありがとうございました。

太田 今後はますます変化、発展するリハビリですが、これからも頑張ってください。ありがとうございました。



回生会における介護保険でリハビリを 行える各事業所

- 1) 京都回生病院「デイケアセンター」
- 2) 訪問リハビリテーション「かいせい」
- 3) アンチエイジングリハビリテーション「回生」
- 4) 訪問リハビリテーション「クリニック回生」
- 5) 介護老人保健施設「ケアセンター回生」
- 6) グッドエイジングリハビリテーション「かいせい」

入院時必需品レンタルシステム(洗濯付き)

6/1より導入

ケアサポート(CS)セット のご案内

患者さまへのサービス向上と院内感染予防、衛生管理を目的として6月1日よりCSセットを導入しております。入院される際に必要となる衣類・タオル類等を専門業者による高熱殺菌洗濯付きレンタル(日額制)にてご利用いただくことにより、ご家族の皆さまのお手をわずらわすこともなく、利用者さまは常に清潔で安心なものを、必要な時に必要なだけ、お使いいただけるシステムです。

CSプラン 衣類・タオルセット

- ・自宅での洗濯不要
- ・入院時の持参品準備の不要
- ・着替え、洗濯物の補充などが不要(下着を除く)

- 衣類 (・甚平・浴衣
・つなぎ寝巻き)
- バスタオル
- フェイスタオル
- おしぼり



CSプランをお申込みの方は、必要に応じて下記消耗品をサービスでご利用いただけます。

リンスインシャンプー・ボディーソープ・BOXティッシュ・お箸・スプーン・
食食用エプロン(ディスポ)・ウェットティッシュ・歯ブラシ(タフト24)・歯
磨き粉・マウスポンジ・口腔ケアティッシュ・口腔湿潤剤・口腔ケアブラシ・
入歯ケース・入歯洗浄剤・ストローコップ・ストロー・吸い飲み

他、タオルプランもご用意しております。詳細につきましては各病棟詰所にお
問い合わせください。今後も更なるサービスの向上を目指して参りますので、
ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

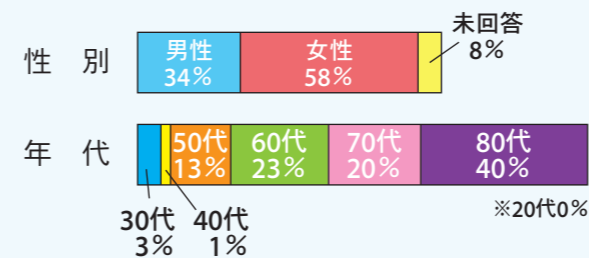
京都回生病院

患者さま満足度調査結果のご報告

●入院について

当院では、平成27年6月に患者さま満足度調査を実施しました。ご協力いただいた患者さま、ご家族の皆さまにお礼を申し上げます。ここに、調査結果を報告いたします。

I.回答いただいた患者さま



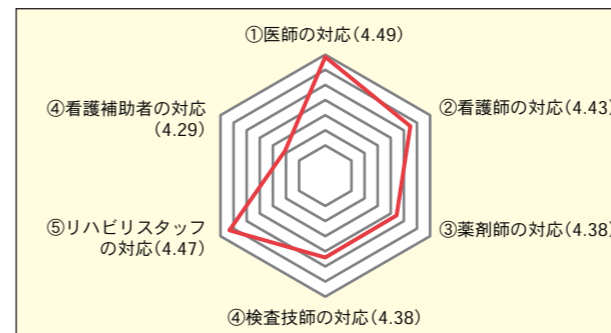
II.職員の対応満足度について

職員の対応について満足度を5点満点でお聞きしました。

- ① 当院の医師の対応(言葉遣い・態度・説明)
- ② 当院の看護師の対応(言葉遣い・態度・技術)
- ③ 当院の薬剤師の対応(言葉遣い・態度・説明)
- ④ 当院の検査技師の対応(言葉遣い・態度・説明)
- ⑤ 当院のリハビリスタッフの対応(言葉遣い・態度・技術)
- ⑥ 当院の看護補助者の対応 (言葉遣い・態度・技術)

評価基準
5 非常に満足している 4 満足している 3 どちらともいえない
2 不満 1 関わっていないため分からない

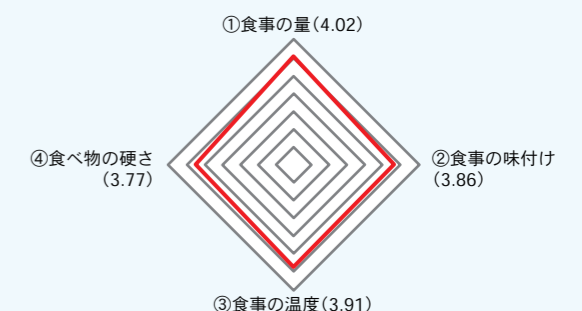
※『1.の関わっていないため分からない』の回答は点数に含んでません



III.看護師から受けた看護の満足度について

	2病棟	3病棟	5病棟
①汚染時の寝間着・寝具交換	4.36	4.50	4.21
②食事・身の回りの世話	4.44	4.60	4.35
③排泄の世話	4.44	4.69	4.28
④ベッドの周囲の整理整頓	4.40	4.40	4.15
⑤苦痛や痛みなどへの速やかな対応	4.42	4.40	4.11
⑥ナースコールの速やかな対応	4.30	4.43	3.94
⑦日々の世話や退院へ向けての指導	4.07	4.54	3.81
⑧社会福祉資源制度の活用アドバイス	3.86	4.64	3.54
⑨訴えなどを速やかに医師に連絡する	4.19	4.50	4.06
⑩注射や処置等の技術面	4.04	4.46	3.94
⑪検査・手術・薬などについての説明	3.90	4.47	3.80
⑫患者の気持ちが医師に伝わるような配慮	4.16	4.57	4.00
⑬秘密の厳守(病気・家族について)	4.33	4.67	4.12
⑭つらい・不安な気持ちへの理解	4.06	4.33	3.94
⑮今、何かをしてほしいときへの対応	4.19	4.42	3.87
⑯プライバシーへの配慮の対応	4.21	4.70	4.00
⑰遠慮なく物事を頼める	4.53	4.47	4.00
⑱心地よい援助	4.41	4.58	4.17

IV.食事の満足度について



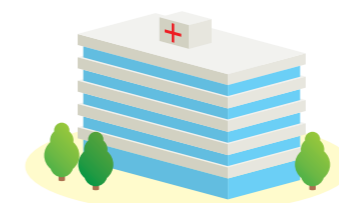
V.良い評価をいただいた項目

- ・見舞いの人の事も配慮していただけるのが嬉しい
- ・処置が早い
- ・総合的に満足
- ・すぐ来れない場合も適切な態度がよその病院よりも良いし、明るい
- ・食事も良いし、品数も多く、豊富である
- ・先生も優しく、患者に対して優しい
- ・お粥がおいしい
- ・入院中十分に満足しておりました
- ・なんとかしてあげたいと思う気持ちが伝わってきて感謝している

VI.改善を必要とする評価をいただいた項目

- ・紙コップのホットの自動販売機がほしい
- ・連携をスムーズにとってほしいと思う
- ・たくさんの頑張っておられる方がいるのに、数人の働きが残念です
- ・野菜が主に結構な献立で感心していますが、老人の患者が多いと思うので、例えばきんぴらごぼうなど、なかなか噛みず苦勞した

今回の調査を通じて、皆さまからいただいた評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後とも、より良い病院づくりに取り組んでまいります。



介護老人保健施設
ケアセンター回生

父母の会



介護老人保健施設ケアセンター回生では、「母の日」、「父の日」を兼ねて、毎年6月に、恒例の「父母の会」を開催しています。今年はいよいよの梅雨空でしたが、多数のご家族にご参加をいただきました。この催しは三部構成になっており、第一部の昼食会では、利用者さまとご家族が同じテーブルを囲み、お食事をとりながら、ゆっくりと家族水入らずの時間をお過ごしになり、「ご家族からは、「祖母と一緒に食事が出来て感激」、「食事がおいしい」、「久しぶりにゆっくり話せた」等、嬉しい感想が寄せられました。



第二部では、「介護保険改定について」をテーマに家族会を開催しました。本年4月に改定された介護保険制度についてと、8月に利用者さま負担や手続きが一部変更になる点についての説明を行いました。ご家族からは今後の施設運営に役立つ貴重なご意見やご要望をいただきました。第三部は、ボランティアグループ「アロハサウンズ」様によるウクレレ演奏とアロハダンスです。ウクレレの美しい調べに合わせたアロハダンスを見ながら、ハワイアン雰囲気になったりと浸れ、また懐かしの曲が流れると、伴奏に合わせて利用者さまとご家族と一緒に歌い、楽しんでおられました。



今回の父母の会では、利用者さまがご家族と楽しそうにお話されるお姿や、普段お見せにならない表情に接することができました。ケアセンター回生では、「利用者さま本位の介護」を基本理念として、今後も利用者さまとご家族と一緒に楽しんでいただけるふれ合いの場を提供できればと、職員が様々なレクリエーションを企画しています。機会がございましたら、ぜひ一度一緒にご参加下さい。

職員一同、お待ちしております。



介護老人保健施設 ケアセンター回生

〒617-0001 京都府向日市物集女町中海道19-5 TEL(075)934-6888

美味しい・楽しい食事で こころも生き生き

ケアセンター回生では、調理を「京料理花萬」に委託し、四季折々のお料理を皆様にお召し上がり頂いています。お食事は健康維持にとっても重要で、体だけではなく、喜びや安らぎといった心の豊かさにもつながります。食そのものの美味しさはもちろんのこと、食の楽しさを感じて頂ける取り組みを行い、大変ご好評を頂いております。



②外食レクリエーション
ホテルや近くのレストランに出かけ、皆さんお好きな物を召し上がられています。



①実演調理
にぎり寿司、天ぷら、ブリの解体ショー、だし巻き、鰻の湯引き、オムライスなど、調理中の音や香りを間近で感じて頂き、作りたての料理を召し上がって頂いています。



④おせち・お弁当
お誕生日会等、特別な日に出る松花堂弁当は、父母の会の日にご家族も一緒に召し上がり頂けます。



③バイキング
寿司、おでん、オムライス、餃子、だし巻き、エビフライ、たこ焼き等の他、サラダ、デザートも数多くの種類をその時々にご用意しております。

お食事は管理栄養士が関わり、利用者さま一人ひとりに合わせたお食事をご用意しております。噛む機能や飲み込む機能が衰えてしまっても、食材と調理法を工夫する事で、食材一つひとつを美味しく味わうことができ、安全に安心して召し上がって頂いています。

今後もケアセンター回生ではどなたにでも美味しく、楽しく、安全にお食事をお召し上がり頂けるよう努めて参ります。

その他にも気候の良い日にはテラスでランチをしたり、お茶会を開催しています。



医療法人 回生会

〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1
TEL (075)315-3477 FAX (075)311-6082
<http://www.kaiseikai.or.jp>

日本医療機能評価機構認定病院

京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL (075)311-5121(代) FAX (075)314-1843

- 訪問看護ステーションかいせい
TEL (075)323-2585 FAX (075)323-2586
- 京都回生病院 デイケアセンター
TEL (075)314-2021 FAX (075)314-2133
- 京都回生病院 在宅介護支援事業所
TEL (075)321-6365 FAX (075)323-2586
- 訪問リハビリテーションかいせい
TEL (075)323-0533 FAX (075)323-2586

在宅介護支援センター 京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL (075)321-6365 FAX (075)323-2586

介護老人保健施設

ケアセンター回生

京都府向日市物集女町中海道 19-5 〒617-0001
TEL (075)934-6888(代) FAX (075)934-7513

- ケアセンター回生 デイケア
TEL (075)934-6888 FAX (075)934-7513
- 訪問看護ステーション 第二かいせい
TEL・FAX (075)934-6886
- ケアセンター回生 在宅介護支援事業所
TEL (075)935-2018 FAX (075)934-7050
- グッドエイジング リハビリテーションかいせい
京都府向日市寺戸町殿長17K&Cコート1階 〒617-0002
TEL (075)934-3319 FAX (075)934-3318

向日市北地域包括支援センター

京都府向日市物集女町中海道 19-5 〒617-0001
TEL (075)934-6887 FAX (075)934-6910

クリニック回生

京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051
TEL (075)255-0253 FAX (075)255-0254

- 訪問リハビリテーション クリニック回生
TEL (075)255-0273 FAX (075)255-0291
- アンチエイジング リハビリテーション回生
(通所リハビリテーション)
TEL (075)255-0275 FAX (075)255-0292

看護師
理学療法士
作業療法士
社会福祉士の皆さん

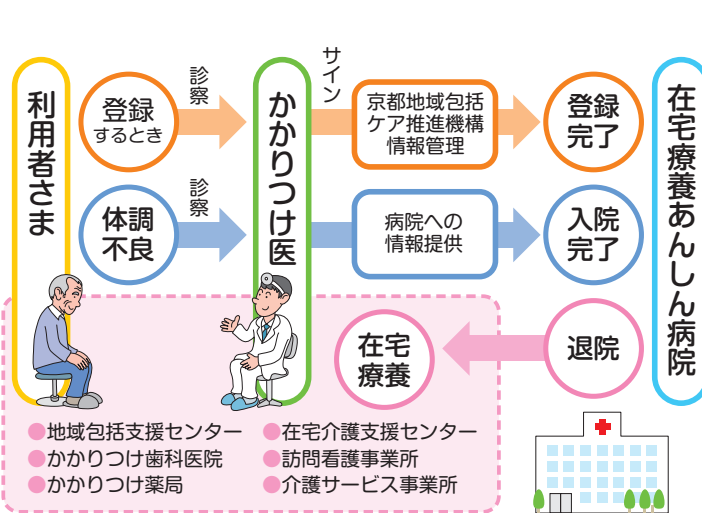


募集中!!

楽しい職場で多くの仲間たちと一緒に働いてみませんか?ドンドンご応募下さい。お待ちしております。日勤常勤・三交替勤務・夜勤のみのパート勤務もあります。

詳しくは回生会本部
庶務課まで
TEL 075-315-3477

在宅療養あんしん病院の登録をおすすめします

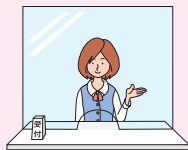
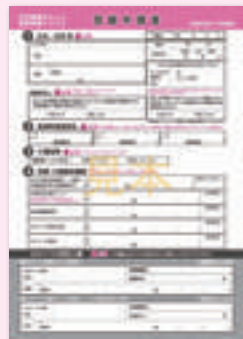


在宅療養あんしん病院登録システムってなに?
在宅療養中の高齢者が体調を崩し、在宅での対応が困難になった時にかかりつけ医の診療を受け、必要に応じてスムーズに入院加療ができる京都独自のシステムです。軽度の病状が対象となり、早期の加療により身体の働きを低下させるだけを防ぐことを目的とします。登録することにより、短期間の入院にて在宅での生活を続けることを支援するシステムです。

対象者

- 65歳以上の高齢者の方
- 在宅で療養中の方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方
- 訪問診療を受けている方
- 施設入所中の方

受付にて記載方法・ご説明等いたしておりますので、お気軽にお声かけ下さい。



在宅療養あんしん病院の案内・登録用紙は訪問診療またはかかりつけ医療機関(病院・診療所)にて入手できます。
もちろん京都回生病院・クリニック回生にもございますので受付にてお声掛けください。その他(訪問看護・訪問リハビリ等)ご利用の方は担当スタッフまでお問い合わせ下さい。

患者様の権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります
患者様は、個人として常にその人格を尊重され、病院がなし得る最善・適切である良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 説明や情報を得る権利があります(インフォームド・コンセント)
患者様は、病気、治療、検査、見直しなどについて、十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
3. 選択の自由と自己決定権があります
患者様は、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択し、決定する権利があります。又、他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を希望される場合には、当院で受けた診療に関する情報を求める権利があります。
4. 個人情報及びプライバシーを保護してもらう権利があります
患者様の個人情報やプライバシー等については、保護してもらう権利があります。
5. 診療情報の開示を求める権利があります
患者様は、申請によりご自身の診療記録等の開示を求める権利があります。
6. 研究途上にある治療方法や薬剤の投与(治験)を行うことは致しません

患者様の責務

1. 自ら健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務があります
良質な医療の提供を受けるために、ご自身の健康状態について、正確に提供する責務があります。
2. 病院の規則に従い他者への迷惑にならないように努める責務があります
すべての患者様が等しく適切な医療を受けられるようにするために、他の患者様や病院職員に支障を与えないよう配慮する責務があります。
3. 治療等に関してご自身の意思を明らかにする責務があります
適切な治療方針を決めるために、ご自身の意思や意見を伝える責務があります。
4. ご加入の保険を正確に伝え、受けた医療に対する医療費をお支払いいただく責務があります

医療法人 回生会は、患者様が公平な医療を受けられることなどを尊重し、患者様と医療提供者がお互いの信頼関係に基づき、協働して良質な医療の提供に努めます。